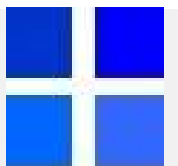




日本史B 琉球・沖縄史①

琉球王国の繁栄

原始～近世（紀元前～18世紀ころ）



沖縄のイメージは？ Jamboardに！

付箋をつくれます



琉球史 (原始)

新 生 代	第3紀 第4紀	更新世	旧石器	猿人 原人 旧人? 新人: 山下町洞人 (沖縄3.2万年前) 港川人 (沖縄・1.8万年前) 浜北人 (静岡・1.4万年前)	人骨などの多くは石灰岩地帯(沖縄に多い)で発見されている。石灰分は土質がアルカリ性で骨が残りやすく、化石になりやすいため。
		完新世	新石器	↓	
	港川人骨 (1970発見)		沖縄県。男女9体が出土。保存状態が良く、ほぼ完全な全身骨格。		
浜北人骨 (1960発見)		静岡県。若い女性の頭骨片などが出土。			



原始・古代

縄文文化

弥生文化

貝塚文化



なぜ、南西諸島に弥生文化が及ばなかったか？（B2）

南島先史時代の文化圏



グスク時代（12～15世紀）を考える

なぜ、按司が出現したのか？（B2）

農耕社会の形成と按司の登場

貝や魚をとって暮らしていた時代から、農業中心の暮らしへと移っていった時代のことをグスク時代といいます。

グスク時代になると、人々は生活の場を台地の上に移し、集落には村の守護神を祀った聖域を構え、稲作と麦・粟を主とした畑作に、牛の飼育を加えた複合農耕を営むようになります。食料を蓄えることも可能になり、人口が急速に増えていきました。

各地には、按司（あじ）と呼ばれる指導者が登場。13世紀になると富と権力を手にした有力な按司が、岩としてのグスクを築き、武力を背景にそれぞれの地域を支配するようになりました。



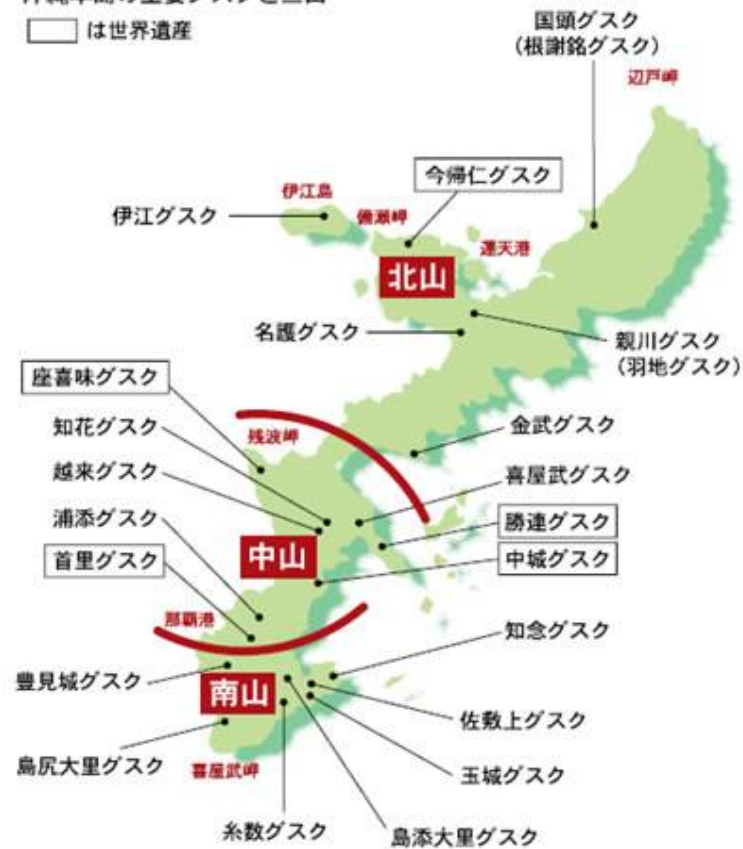
1200年前後に築城されたと伝わる勝連城跡



中世 (三山時代)

沖縄本島の主要グスクと三山

□ は世界遺産



中世（琉球王国の成立）

琉球王国（1429～1879）

- ・ 尚巴志が三山を統一して成立

王府：首里城

外港：那覇

※明に朝貢して王と認められる



なぜ、明（中国）に朝貢したのか？（B1）

琉球王国（1429～1879）

- ・ 尚巴志が三山を統一して成立

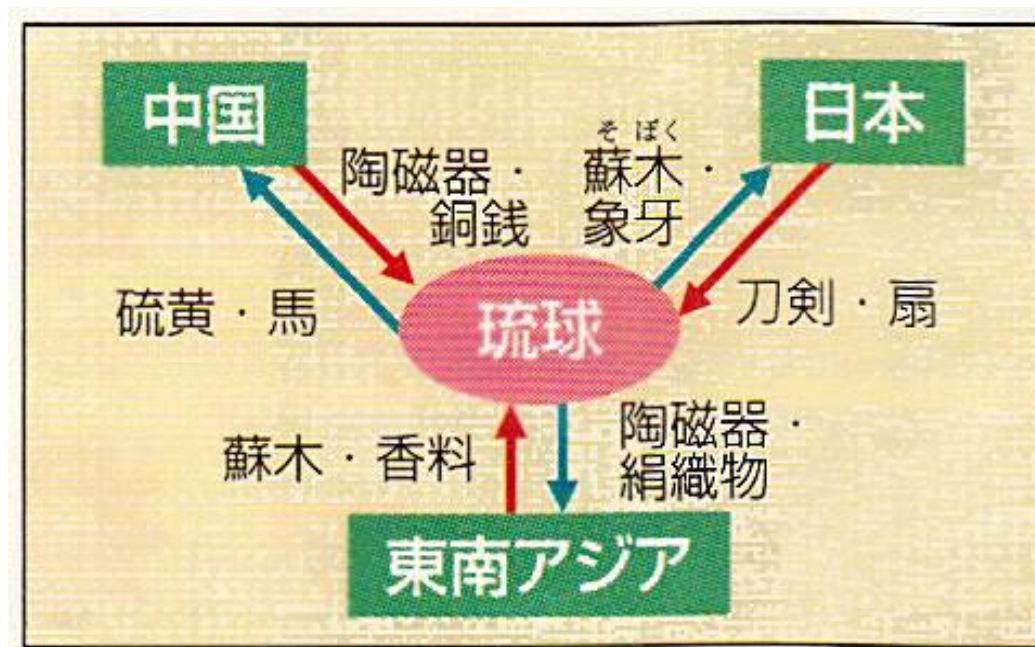
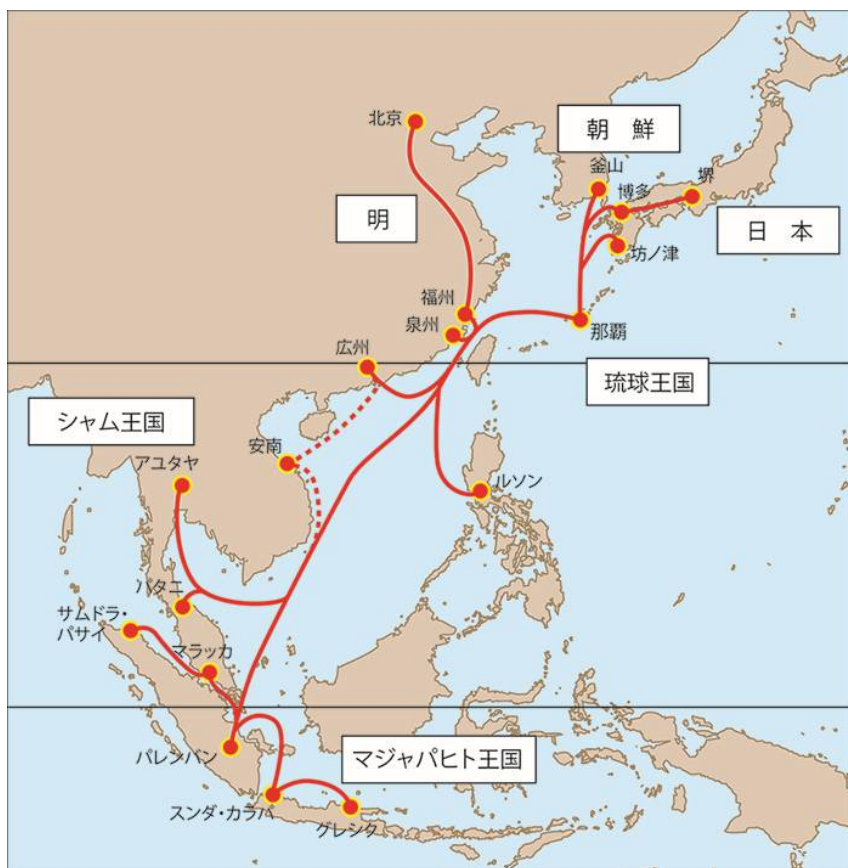
王府：首里城

外港：那覇

※明に朝貢して王と認められる



中世（琉球王国の繁栄：15～16世紀）



琉球王国の中継貿易が成立した理由

- ① 周辺諸国が鎖国政策をとっていた
- ② 倭寇の影響のない安全な港をもっていた
- ③ 周辺諸国との友好関係を維持していた



(万国津梁の鐘 出典:[Wikipedia](https://www.wikipedia.org/))



万国津梁の鐘が意味するものとは？ (B2)

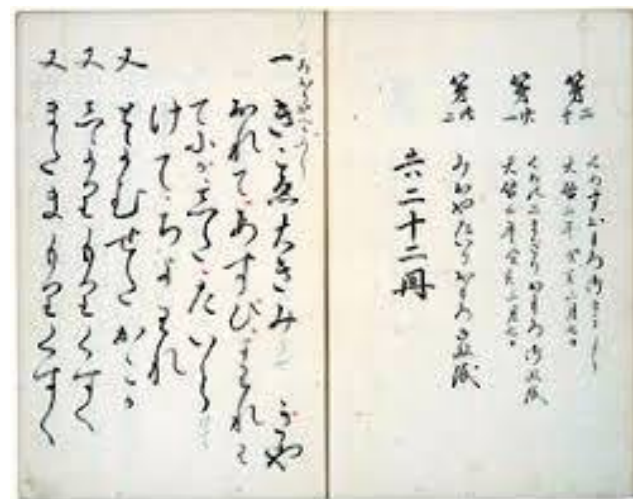


(万国津梁の鐘 出典:[Wikipedia](https://www.wikipedia.org))



琉球王国の文化

- ・ 「おもろそうし」 (1531~1623に完成)
おもろ：琉球の神に捧げる歌
琉球最古の歌謡集



琉球王国の文化

- ・ 三線

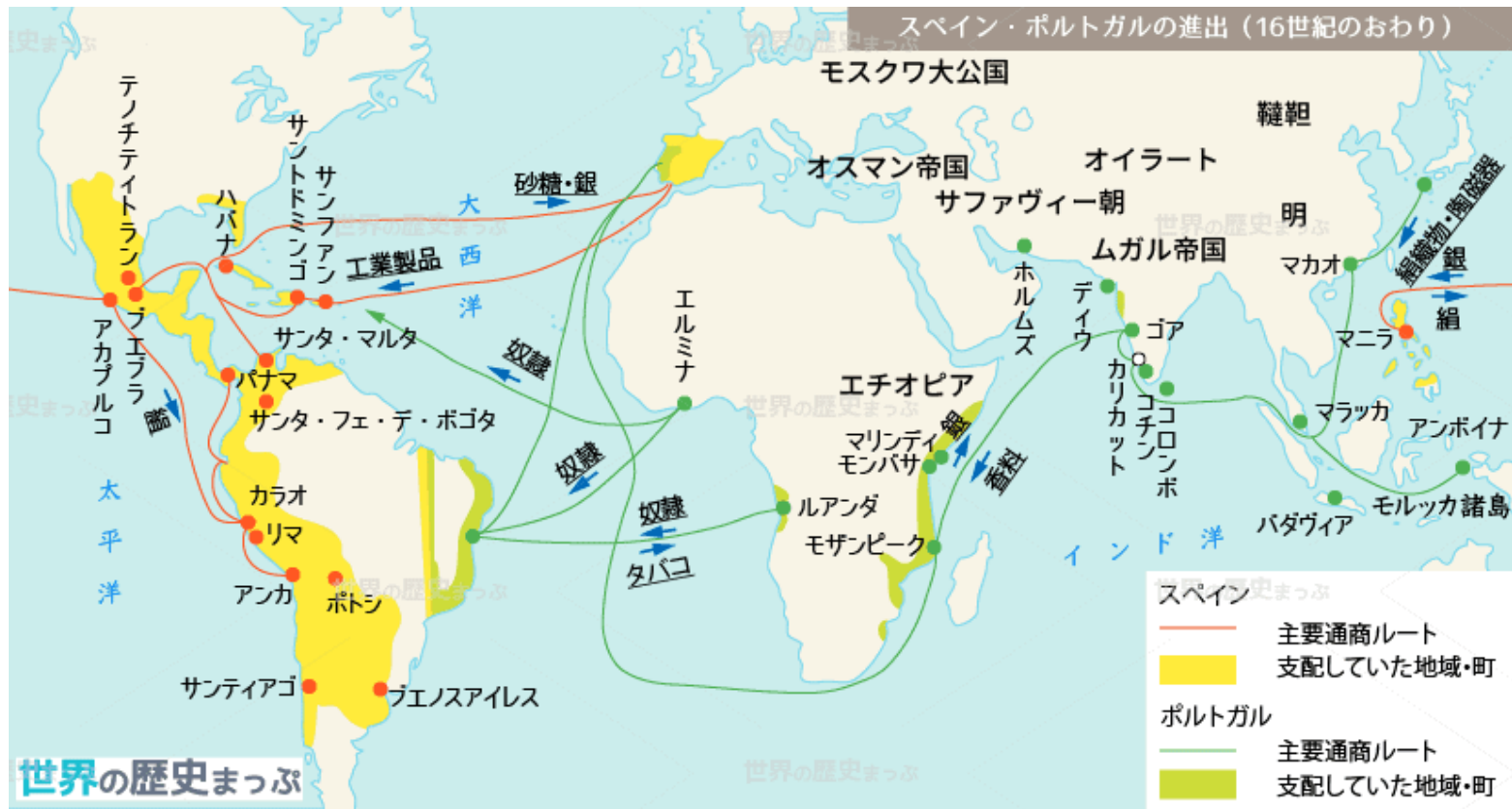


琉球王国の文化

- ・ 琉球語（ウチナーグチ）



近世（ポルトガル人の進出）



近世（島津氏の侵攻：1609）

薩摩藩の島津家久が琉球王国に侵攻
→ 尚寧を捕らえる

明→清朝
(中国)

日本
(幕府)

琉球王国



幕府が琉球王国を存続させた理由は？ (B2)

